

# 鬼平江戸処

鬼平らが生きた時代の江戸の町を再現するため、建物が何十年も前からそこにあったかのように「エイジング」と呼ばれる技法を施しました。

専門の職人たちの手で、時代考証をしながら、柱の刀傷や雨水の染みや汚れ、壁に生えた苔までも再現し、江戸の町に命を吹き込みました。

“つくりもの”ではない、本物の江戸のリアルな再現を追及しています。

撮影日 10月23日



■漆喰壁の黒黴や佇まいの汚しをリアルに再現する技法（エイジング）



■時代小説をも彷彿させる柱の刀傷



■下見板張りの苔、黴、染みのリアルな再現



■ 芝居小屋のむしろ



■ 蔵の雨水だれ、鑄鉄の白錆、古い瓦の様子